

# 決算公告

## 第 3 期

自 令和05年02月01日  
至 令和06年01月31日

株式会社エイジプラス  
代表取締役 岩崎 孝洋

## 貸借対照表

令和06年01月31日 現在

株式会社エイジプラス

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	233,280,570	【流動負債】	386,985,951
現金及び預金	139,220,729	短期借入金	320,000,000
売掛金	88,590,820	未払金	57,265,141
未収入金	1,962,960	未払金経費	103,676
前払費用	3,506,061	未払費用	1,797,622
【固定資産】	82,158,133	預り金	1,013,348
有形固定資産	1,267,393	仮受金	1,946,664
建物附属設備	296,012	未払消費税等	4,083,500
工具器具備品	2,129,777	未払法人税等	776,000
減価償却累計額	△ 1,158,396	負債の部合計	386,985,951
無形固定資産	63,015,925	純資産の部	
ソフトウェア	7,594,733	科目	金額
減価償却累計額(ソフトウェア)	△ 4,142,580	【株主資本】	△ 71,547,248
のれん	59,563,772	資本金	50,000,000
投資その他の資産	17,874,815	資本剰余金	50,000,000
長期前払費用	12,776,441	資本準備金	50,000,000
敷金及び保証金	5,098,374	利益剰余金	△ 171,547,248
		その他利益剰余金	△ 171,547,248
		繰越利益剰余金	△ 171,547,248
		(うち当期純損失)	△ 63,198,133
		純資産の部合計	△ 71,547,248
資産の部合計	315,438,703	負債・純資産の部合計	315,438,703

## 個別注記表

自 令和05年02月01日

至 令和06年01月31日

株式会社エイジプラス

1. この計算書類は、「中小企業の会計に関する指針」によって作成しています。

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① 棚卸資産の評価基準及び評価方法

総平均法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く。）及び平成28年4月1日以降取得した建物附属設備並びに構築物については定額法）を採用しています。

② 無形固定資産

定額法を採用しています。

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

① のれんの償却方法及び償却期間

のれんの償却は、効果の発現する期間を合理的に見積り、当該期間にわたり均等償却しております。

② 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

当該事業年度の末日における発行済株式の数 2000株

4. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額 △35,773円62銭

1株当たり当期純損失 31,599円06銭

以上